

現地法人設立の準備の準備 《現地視察にあたって》

さて、先月までは、インドネシアでの企業設立の流れをご紹介しました。しかし、実際に現地で起業するとなると、現地へ出向いての市場調査はもちろんのこと、工場用地の視察、駐在スタッフの住居や社用車の準備、コンサルタント会社の選定、打ち合わせ等、現地法人設立前に何度も現地へ足を運ぶ事になります。もしくは2週間~1ヶ月程かけて調査にこられる企業様も少なくありません。今月は、そういった起業準備の準備についてご説明いたします。

1. VISA (査証) がいるの？ いないの？

インドネシアへの視察では、VISA が必要なのでしょうか？これは、良くある質問ですが、回答は訪問内容によります。例えば取引先とのミーティング（コンサル会社や顧客との商談、銀行口座開設手続き等）に終始する場合、到着 VISA (VISA ON ARRIVAL : VOA) と呼ばれる VISA で問題ありません。

この VISA はインドネシアの玄関、スカルノ・ハッタ空港（ジャカルタ）や、ングラライ空港（バリ/デンパサール）で到着時に購入可能です。到着・出発日を含む 30 日有効で US25 ドル（日本円、クレジットカードでの支払いも可）です。必要であれば、さらに 30 日の延長が可能です。

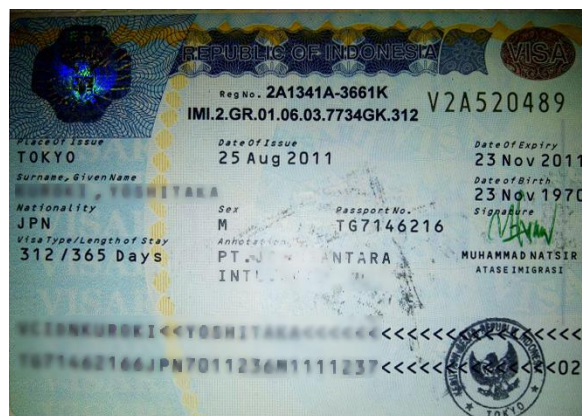
注意が必要なのは、スケジュール内に工場視察を含む場合です。視察先で工場の見学・視察というパターンは良くあることですが、この場合、インドネシアの入管法を厳密に順守するならば、事前に在日インドネシア大使館・総領事館での VISA 取得が必要です。まして工場内で機械の据付け、メンテナンス等を行う場合は、間違いなく事前の VISA 取得が必要です。不必要なトラブルを避けるためにも、訪問目的にあった VISA で入国しましょう。詳しくは、岡山県を含む中国・四国・近畿地方を管轄している、在大阪インドネシア共和国総領事館で確認してください。

○在大阪インドネシア共和国総領事館

〒542-0081 大阪府中央区南船場 4 丁目 4-21 りそな船場ビル 6 階

TEL: 06-6252-9826 / FAX: 06-6252-9872

最寄り駅：御堂筋線 心齋橋駅（3 番出口）



業務 VISA

2. 空港からの足は？

スカルノ・ハッタ空港に到着したら、まずはタクシーを利用したいという方が多いと思います。ただ、日本と違いすべてのタクシーが安全というわけではありません。

空港出口で、よく「タクシー、タクシー？」と話し掛けてくるのは、白タクの運転手です。もしもじしている、いきなりトランクケースに手を掛け、自分たちの車に誘導しようとするので、「NO」とはっきり断りましょう。必ずしも危険と言うわけではありませんが、値段交渉が必要です。交渉に成功したと満足したところで、実は法外な金額を支払っていたという場合がほとんどです。まずは正規のタクシーを使って相場を知りましょう。

空港で入国手続き→荷物受取り→税関（カスタム）を終え、出口を出ると、ブルーバード（BLUE BIRD）タクシーと呼ばれるタクシー会社のカウンターがありますので、これを利用することをお奨めします。また同グループのハイヤー、シルバーバード（SILVER BIRD）は、高級車（ベンツからアルファードまで）のため、若干料金が高めですが、日本のタクシーと比較すると格段に安いので、迷う必要はありません。最初の渡航では、まず、信頼できるタクシー会社を使いましょう。ドライバー教育も良いので、道もよく知っていて、結果として満足できます。

3. ホテルはロケーションが重要！ ジャカルタは交通渋滞に要注意！！

さて、現地視察・調査を行う際にまず決めるのは、航空券の他に宿泊施設です。今では、インターネットでホテルの比較、予約を簡単に行うことができます。

例えば、アゴダ（www.agoda.jp）やブッキングコム（www.booking.com）、ホテルズコム（www.hotels.com/International_Hotels）などのホテル予約サイトは、五つ星から一つ星まで網羅しており、一昔前と比べるとずいぶん便利になったものです。ただ一点、特にジャカルタでの視察の場合、ホテルのロケーションには注意してください。

公共交通機関の発達していないこの都市では（というとインドネシアの面子にかかわるので、言い直しますと、実際は、電車、バス、乗り合いタクシー、オートバイタクシーなど色々と存在しますが、外国人がそれを使いこなすには難があります、という意味です）、時間帯によって渋滞の流れが変わります。都市部とベッドタウン、工業団地を結ぶ高速道などでは、朝夕、数十キロ渋滞することもあり、ホテルの立地によっては、出発後、大渋滞に遭い、その日予定していた訪問先を廻りきれなかったなどというケースも良く見受けられます。

特にジャカルタの目抜き通り、高層オフィスビルの林立するJI. M. H THAMRIN（ジャラン エム ハー タムリン）JI. JEND. SUDIRMAN（ジャラン ジェンドラル スディルマン）【ジャランはインドネシア語で「通り」を指します】等、主要区間では、スリー・イン・ワン（注）と呼ばれる交通規制



朝の渋滞風景

があり、時間帯によってその周辺の道路は渋滞が激しくなります。

これを避ける為に、まずホテルを決める前に、訪問先の企業やコンサルタント会社へ訪問先、スケジュールを伝え、どの地域のホテルに決めるべきか助言を求めましょう。工業団地への訪問がメインとなる日は、工業団地へのアクセスとなる高速インター付近のホテルでの宿泊、比較的ジャカルタ中心地に集まるコンサル会社事務所や、銀行、政府機関を廻る事が多い日は、中心地での宿泊と、ホテルを使い分けるのも一つの手段です。

どちらへ行くにも便利な立地のホテルも実際にありますが、かなり混雑しているのが現状です。

（注）スリー・イン・ワンとは、平日の朝 7時から 10時、夕方 16時半から 19時は、タクシー以外の一般車両はドライバーを含め 3人以上乗車していないと、通行不可という交通規制です。

来月号では、一週間以上の滞在を想定し、ゲストハウス、サービスアパート等の利用についてご紹介いたします。

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★

所在地：WISMA NUSANTARA BUILDING 24th Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者：PT.JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています(岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#) (電話 086-226-7365) までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応していません。